

多摩地域連携 外科専門研修プログラム



目次

1. 多摩地域連携外科専門研修プログラムについて	2
目的と使命	
特徴	
2. 研修プログラムの施設群	3
3. 専攻医の受入数について	4
4. 外科専門研修について	4
1) プログラムの概要	
2) 年次毎の専門研修計画	
3) 研修の週間計画および年間計画	8
4) 研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール	11
5. 専攻医の到達目標	12
6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	
7. 学問的姿勢について	
8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて	13
9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方	14
10. 専門研修の評価について	18
11. 専門研修プログラム管理委員会について	
12. 専攻医の就業環境について	
13. 修了判定について	19
14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	
15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について	
16. 専攻医の採用と修了	20
17. 専攻医体験談	21

問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院外科専門研修プログラム管理委員会

電話:042-639-1111 (内 2104) 大島

メール: resi8@hachioji-hosp.tokai.ac.jp

yamada.shunsuke@hachioji-hosp.tokai.ac.jp

ホームページ:

http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/saiyoujyohou/recruit/clinician_tr/kouki_bosyu/
見学、個別相談など随時受け付けています。

多摩地域連携外科専門研修プログラム

1. 多摩地域連携外科専門研修プログラムについて

目的と使命

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科, 心臓血管外科, 呼吸器外科, 小児外科, 乳腺, 内分泌外科)、またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

特徴

多摩地域連携外科専門研修プログラムの最大なる特徴は、地域密着型であり、厚生労働省ならびに日本医師会が目標に掲げている診療圏中心に連携している唯一のプログラムです。基幹施設である東海大学医学部附属八王子病院は大学附属機関であり、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺内分泌外科、小児外科、さらに救命救急センターにおいてそれぞれに研修することが可能であり、加えて 8 施設の連携施設群がそれぞれの特徴を生かして一体となった運営をするプログラムです。

広い基礎的実地医療を学べると共に一般市中病院あるいは開業医としての個人的医療施設へ進む事を希望される先生方にも将来安心して医業に専念できる知力、技量などを身につけることができます。もちろん大学附属施設を目指したいと思っている医師にとっても専門分野に深く入るためのオールラウンドの基礎を身につけるのに最適な研修プログラムです。先輩指導医が身近に親身になって指導してくれ、また種々の問題についても優しく相談に乗ってもらえます。比較的小さいプログラム故の家族的な温かい雰囲気です。楽しく学ぶことができると思います。

2. 研修プログラムの施設群

1) 東海大学医学部附属八王子病院と連携施設(8 施設)により専門研修施設群を構成します。本専門研修施設群では 32 名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

2) 施設群の内訳

専門研修基幹施設

名称	都道府県	1:消化器外科,2:心臓血管外科,3:呼吸器外科,4:小児外科,5:乳腺内分泌外科,6:その他(救急含む)	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
東海大学医学部附属八王子病院	東京都	1, 2, 3, 4, 5, 6	1. 山田 俊介 2. 向井 正哉 幕内 博康 野村 栄治 山口 雅臣 鈴木 育宏 平川 均

専門医連携施設

No		東京都		連携担当者氏名
1	国立病院機構 災害医療センター	東京都	1, 2, 3, 4, 5, 6	伊藤 豊
2	町田市民病院	東京都	1, 3, 4, 5, 6	保谷 芳行
3	医療法人財団中山会八王子消化器病院	東京都	1	小池 伸定
4	医療法人社団永生会南多摩病院	東京都	1,2,6	朽方 規喜
5	医療法人財団立川中央病院	東京都	1,5	江口 礼紀
6	医療法人財団興和会 右田病院	東京都	1	北山 卓
7	医療法人社団おなか会おなかクリニック	東京都	1	村井 隆三
8	社会医療法人社団正志会南町田病院	東京都	1	後藤 哲宏

3. 専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の3年間 NCD 登録数は 7,632 例で、専門研修指導医は 32 名のため、本年度の募集専攻医数は 4 名です。

4. 外科専門研修について

1) プログラムの概要

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年の専門研修で育成されます。

3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。

専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。

多摩地域連携外科専門医研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得ができる期間まで延長することができます(未終了)。

研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例(NCDに登録されていることが必須)は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。(ただし加算症例は100例を上限とする)

2) 年次毎の専門研修計画

専攻医の研修は、毎年達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。

① 専門研修 1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learning や書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

② 専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

③ 専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

★ 多摩地域連携外科専門医研修プログラムコース

以下に多摩地域連携外科専門医研修プログラムの具体例を示します。

専門研修 1・2年目は基幹もしくは連携施設のいずれかに所属し研修を行います。専門研修3年目は原則として基幹施設で研修を行い、不足症例に関して各領域をローテートします。いずれの施設も、同じもしくは隣接する医療圏に存在します。各連携施設の特徴を考慮し、どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始します。

各科の研修期間の期間を参考までに示します。

- | | |
|-------------|-----|
| ① 消化器外科 | 9ヶ月 |
| ② 心臓血管外科 | 3ヶ月 |
| ③ 呼吸器外科 | 3ヶ月 |
| ④ 乳腺内分泌外科 | 3ヶ月 |
| ⑤ 小児外科 | 3ヶ月 |
| ⑥ 連携施設 | 6ヶ月 |
| ⑦ 各専攻医の自由選択 | 9ヶ月 |

上記組み合わせの研修期間は変更可能です。

サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース：基幹施設でサブスペシャリティ領域（消化器外科，心臓・血管外科，呼吸器外科，小児外科，乳腺，内分泌外科）、または外科関連領域の専門研修を開始します。

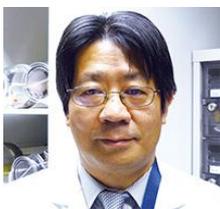
サブスペシャリティ専門領域連動コース

1 年次	2 年次	3 年次
基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 6か月間:外科専門医研修 6か月間:サブスペシャリティ 専門領域研修

サブスペシャリティ専門領域を想定しないコース

1 年次	2 年次	3 年次
基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 (外科専門医研修)

★ 専門研修プログラム総括責任者からのメッセージ



呼吸器外科教授
山田 俊介
専門分野：
呼吸器外科

多摩地域連携外科専門研修プログラムは、東海大学附属八王子病院と隣接する8施設が連携した地域密着型の研修プログラムです。病院群が対応する地域の人口は約200万人。東京全体の15%を占めます。高度な外科治療から日帰り治療まで幅広い範囲で、豊富な臨床経験をつむことができます。

ぜひ我々のプログラムに参加してください。

単に3年間で手術件数を確保するのではなく、いかにやりがいをもって研修を行うかを念頭に、研修プランを提供していきたいと思えます。

東海大学医学部附属八王子病院における各診療科からのメッセージ



消化器外科教授
野村 栄治
専門分野：
消化器外科
上部消化管

消化器外科

当プログラムをご覧頂きありがとうございます！！

何より東海大学附属八王子病院を基幹施設とし、多摩地区でも症例数の多い病院との連携が当プログラムの最大の特徴です。

その上専攻医の絶対数が少なく、より多くの症例をきめの細かい指導により経験することができます！短期間で技術を習得したい方にはうってつけのプログラムです。ぜひ研修してみませんか？見学や相談も随時受け付けています。まずはご連絡ください！



心臓血管外科
講師
山口雅臣
専門分野：
心臓血管外科

心臓血管外科

心臓血管外科では、虚血性心疾患や心臓弁膜症などの心疾患、大動脈瘤などの大血管疾患、閉塞性動脈硬化症や静脈瘤などの末梢血管疾患の手術とカテーテル治療を行っています。外科医として習得しておくべき血管の剥離、縫合や止血処置などの手技を体験・習得することができます。また術後管理を通じて、昇圧剤、強心剤、抗不整脈薬などの心血管作動薬の使い方や体液管理の基礎を習得することができます。



呼吸器外科
准教授
中川 知己
専門分野：
呼吸器外科

呼吸器外科

東海大学八王子病院呼吸器外科の手術件数は年々増加しており、2017年の手術件数は245件です。手術の内容は、胸腔鏡を用いた完全胸視野による肺がん手術(肺葉切除、区域切除)や気胸手術がその大半を占めます。

さらに気管支形成や血管形成を必要とする肺がん手術など、多岐にわたった豊富な手術の経験が出来る施設です。

やる気のある先生方のサポートを全力で致します！



小児外科教授
平川 均
専門分野：
小児外科

小児外科

当院は、日本小児外科学会認定教育関連施設であり、日本小児外科学会指導医ならびに専門医各1名の2人体制で、年間入院数1000名、200-300件の手術や検査を行っています。腹腔鏡下手術を積極的に取り入れながら鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、急性虫垂炎など日常疾患を中心に行っています。和気あいあいと子育て中の女性医師でも働けるワークライフバランスにも十分配慮した八王子で唯一貫した小児外科診療を行っております。



乳腺内分泌外科
教授
鈴木 育宏
専門分野：
乳腺内分泌外科

乳腺・内分泌外科

乳腺・内分泌外科は、多摩地域の乳がん診療の一翼を担い、年間、乳がん手術を150件、甲状腺がん手術を15件程度行っています。診断から手術、薬物療法、緩和ケアまでを一貫して行い、幅広い知識、素養が得られます。スタッフは3名で、うち2名ががん薬物療法専門医の資格を有していますので、外科専門医のサブスペシャリティとしてはもちろんのこと、乳がんの薬物療法に携わるプログラムにも参加可能です。

3) 研修の週間計画および年間計画

基幹施設（東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 抄読会, 病棟カンファレンス		○					
8:00-8:30 医局会、症例カンファレンス	○						
8:30-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
13:00-16:00 午後外来	○	○	○	○	○		
8:00-8:30 教授回診	○						
18:00-19:00 内科外科放射線科カンファレンス		○					
20:00 チームカンファレンス					○		

連携施設（町田市民病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:40-8:00 ミーティング					○		
8:00-9:00 合同術前症例カンファレンス					○		
8:00-8:15 薬剤等の説明会	○						
8:15-8:30 抄読会	○						
8:00-8:30 レジデントミーティング		○	○	○			
8:30-9:00 ミーティング	○	○	○	○			
9:00- 手術、外来、回診	○	○	○	○	○		
17:00- タカンファレンス	○	○	○	○	○		

連携施設（国立病院機構災害医療センターの例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:00 外科病棟医勉強会 & カンファレンス		○					
7:30-8:30 外科症例カンファレンス				○			
8:30-12:00 外科系病棟業務&手術対応	○	○	○	○	○		
13:00-17:15 外科系病棟業務&手術対応	○	○	○	○	○		
7:30-8:30 消化器癌カンファレンス (外科、内科、病理科)					○		
15:00-16:00 呼吸器外科集談会 カンファレンス				○			
16:30-18:00 肺がん胸部疾患カンファレンス (外科、内科、病理科、放射線科)				○			
17:00-17:30 心臓手術カンファレンス (心臓外科、麻酔科、ME、手術室スタッフ)		○			○		
17:30-18:00 心臓外科循環器科 カンファレンス	○						

基幹施設(東海大学医学部附属八王子病院)

(1) 心臓血管外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 朝カンファレンス			○				
7:45-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:30- 手術, カテーテル治療	○	○	○	○	○	○	
13:00-15:00 午後外来	○	○	○	○	○	○	
17:30- 循環器外科内科カンファレンス	○						

(2) 呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 朝回診	○						
7:45-16:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○		○	
9:30- 手術、	○			○	○		
気管支鏡検査	○		○				

13:00-16:00	午後外来					○		
17:00	教授回診			○				
17:30-	内科外科合同 勉強会／カンファレンス			○				
18:00	外科カンファレンス/勉強会			○				

(3) 小児外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00	朝回診	○	○	○	○	○	
8:30-12:00	外来診療、病棟管理、処置	○	○	○	○	○	
8:30-12:00	病棟管理、処置						○
9:30-	手術、		○		○		
13:00	検査、処置	○		○		○	
13:00-16:00	小児外科カンファレンス／勉強会				○		
15:00	夕回診			○			

(4) 乳腺内分泌外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00	病棟回診	○	○	○	○	○	
9:00-10:00	病棟業務	○	○	○	○	○	
8:00-16:00	外来	○	○	○			
8:00-14:00	外来					○	
9:00-	手術				○	○	○
15:00	マンモトーム生検				○	○	
17:30-18:00	抄読会、勉強会				○		
18:00-19:00	症例カンファレンス				○		
18:00	キャンサーボード				○		

4) 研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	外科専門研修開始. 専攻医および指導医に提出用資料の配布(東海大学医学部附属八王子病院ホームページ) 日本外科学会定期学術集会 参加(発表)
5	研修修了者: 専門医認定審査申請・提出
8	研修修了者: 専門医認定審査 (筆記試験)
11	日本臨床外科学会総会 参加(発表)
2	・専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成(年次報告)(書類は翌月に提出) ・専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成 (書類は翌月に提出) ・指導医・指導責任者: 指導実績報告用紙の作成 (書類は翌月に提出)
3	・その年度の研修終了 ・専攻医:: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者: 前年度の指導実績報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

5. 専攻医の到達目標(習得すべき知識・技能・態度など)

専攻医研修マニュアルの到達目標1(専門知識)、到達目標2(専門技能)、到達目標3(学問的姿勢)、到達目標4(倫理性、社会性など)を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得(専攻医研修マニュアルー到達目標 3-参照)

- ・ 基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- ・ 放射線診断・病理合同カンファレンス：手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比いたします。
- ・ Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- ・ 基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年1～2月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- ・ 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- ・ トレーニング設備や教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- ・ 日本外科学会の学術集会(特に教育プログラム)、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで次の事柄を学びます。

標準的医療および今後期待される先進的医療

医療倫理、医療安全、院内感染対策

7. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決し得ない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的ある

いは臨床的研究成果を発表します。さらに得られた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。

- ① 日本外科学会定期学術集会に 1 回以上参加
- ② 指定の学術集会や学術出版物に筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて

(専攻医研修マニュアルー到達目標 3- 参照)

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること (プロフェッショナリズム)

- ・ 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。

2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること

- ・ 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。
- ・ 医療安全の重要性を理解し、事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。

3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること

- ・ 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。

4) チーム医療の一員として行動すること

- ・ チーム医療の必要性を理解し、チームのリーダーとして活動します。
- ・ 的確なコンサルテーションを実践します。
- ・ 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。

5) 後輩医師に教育・指導を行うこと

- ・ 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。

6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること

- ・ 健康保険制度を理解し、保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
- ・ 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
- ・ 診断書、証明書が記載できます。

9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

本研修プログラムでは、東海大学医学部付属八王子病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成してします。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。このことは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では、稀な疾患や治療困難例が中心となり common diseases の経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うことが非常に大切です。この多摩地域連携外科専門研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、多摩地域連携外科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験（専攻医研修マニュアルー経験目標 3- 参照）

地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。

以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- ・ 本研修プログラムの連携施設には、この多摩地域における地域医療の拠点となっている合計 8 施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療の研修が可能です。
- ・ 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
- ・ 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADL の低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

以下 各修練施設を紹介いたします。

基幹施設

東海大学医学部付属
八王子病院



住所：東京都八王子市石川町1838
病床数：500床（ICU/CCU:16床 HCU:25床）
指導医数：18名
外科年間手術件数(NCD登録2016年)：1376例

特徴：東海大学医学部付属八王子病院は2002年に開設。中央道八王子IC近くに位置し、30診療科を有する地域医療を重視した大学病院です。最新鋭の画像診断装置、高精度放射線治療を有し、各診療科とも最先端の専門的診療に取り組み、全てのがん治療に対応できる体制を取っております。



連携施設

医療法人社団おなか
会おなかクリニック



住所：東京都八王子市旭町12-12
病床数：6床
指導医数：1名
外科年間手術件数(NCD登録2016年)：323例

特徴：おなかクリニックは、JR八王子北口駅前にある6床の有床診療所です。苦痛の少ない胃・大腸内視鏡検査と痔・ソケイヘルニアの日帰り手術に専門特化したクリニックです。また住み慣れた自宅で最期まで過ごすことのお手伝いをする在宅医療をターミナルケアを中心に行っている在宅医療支援診療所でもあります。2017年には、胃内視鏡検査は6456件、大腸内視鏡検査は4823件行いました。日帰り手術は、ソケイヘルニアが75件、痔疾患が263件でした。

<p>医療法人財団中山会 八王子消化器病院</p> 	<p>住所：東京都八王子市万町 177 番地の 3 病床数：98 床 指導医数：5 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：601 例 特徴：消化器疾患の専門病院で、研修しませんか？ 1983 年に故中山恒明先生が開設して以来、故羽生富士夫先生から現在に至るまで消化器疾患専門病院として診療しています。外科手術症例は、年間約 600 件に上り腹腔鏡下手術や膵・胆道がん等の中・高難度手術が約 6 割を占めます。また、膵臓病センターでは、高度知識・技術を要する膵治療に注力しています。専門病院ならではの希少症例を含め、対象は多岐に亘り消化器疾患のエキスパートを目指すには最高の研修病院です。</p>
---	---

<p>医療法人財団興和会 右田病院</p> 	<p>住所：東京都八王子市暁町 1 丁目 48 番地 18 号 病床数：82 床(急性期一般入院 41 床, 地域包括ケア病棟 41 床) 指導医数：1 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：168 例 特徴：右田病院の歴史は長く、99 年もの間、救急は医の原点として八王子市の救急医療に携わり続けて来ました。高齢化が進む環境下、二次救急を請け負う中小救急病院は従来から求められてきた役割に加えて、在宅医療の後方支援など高齢者救急の役割も負っています。まずは患者さんを受け入れ、必要に応じて専門病院や中核病院へつなぐことも当院の地域医療における役割と考えております。</p>
---	--

<p>国立病院機構 災害 医療センター</p> 	<p>住所：東京都立川市緑町 3256 病床数：455 床 指導医数：6 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：1112 例 特徴：当院は政策医療の役割のため特異な名称ですが、通常診療において高度急性期医療を提供しています。外科は消化器外科、心臓外科、呼吸器外科、救命外科があり独立しています。それぞれの診療科は協力しあって外科医療を担っています。特に がん医療、救命科、心臓外科は東京都北多摩西部医療圏の中心的役割を担っています。専攻医は指導医が前立ちとなり、カリキュラム開始時時点から手術手技、臨床の姿勢、思考法を獲得するべく指導しています。</p>
---	--

<p>医療法人社団永生会 南多摩病院</p> 	<p>住所：八王子市散田町 3-10-1 病床数：170 床 指導医数：4 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：430 例 特徴：南多摩病院はJR中央線西八王子駅徒歩 1 分に位置する中規模の東京都指定二次救急医療機関です。急性期病院の立場から、医療法人社団永生会が目指す“街づくり、人づくり、思い出づくり”に、日々取り組んでいます。病床数は 170 ですが、平均 1 日外来患者は約 550 人、年間救急搬送台数は約 4,400 台になります。病院救急車を公的に運用する地域包括ケアのハブ病院として「地域住民に良質かつ安全な医療の提供」を通して社会に貢献することを使命と考えています。訪問診療にも注力し、高齢者にも優しい医療を心掛けています。益子邦洋病院長の強いリーダーシップの下、職員一同皆、忙しくも明るく、日々楽しく仕事をしています。</p>
--	--

<p>町田市民病院</p> 	<p>住所：町田市旭町 2-15-41 病床数：447 床 指導医数：3 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：1009 例 特徴：町田市民病院外科は幅広い疾患を扱っているため、消化器外科医、呼吸器外科医、乳腺外科医、小児外科医を配置して専門性の高い治療を行っています。手術に際しては外科医のほかに内科医、放射線科医、病理医との合同カンファランスによって方針が確認、決定されます。より手術のダメージを軽減する目的でできるだけ内視鏡手術を導入して早期の社会復帰を目指します。最近の抗がん剤の進歩により抗がん剤と手術を組み合わせた集学的癌治療を積極的に行います。</p>
---	--

<p>医療法人財団 立川中央病院</p> 	<p>住所：立川市柴崎町 2-17-14 病床数：115 床（一般：79 床，療養型：36 床） 指導医数：3 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：261 例 特徴：当院では地域密着型の小規模な病院で高齢者が多いためもあり、患者様にやさしい外科治療を行っています。一方高齢というだけで手術適応から除外しているわけではなく、他施設で手術ができないと判断されるような症例でも手術を行っていますし、高難度の手術件数も少なくありません。DPC 対象病院ではありませんが、これがむしろご高齢な方や併存疾患のあるに患者様にとっては良い場合が多いと思います。療養病棟の併設もまた然りです。</p>
---	---

<p>社会医療法人社団 正志会南町田病院</p> 	<p>住所：町田市鶴間 4 丁目 4 番 1 号 病床数：222 床 指導医数：5 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2016 年)：380 例 特徴：東京都町田市の最南に位置する地域密着型の222床の中規模病院である。2次救急指定機関として救急医療にも力を入れている。災害拠点病院にも認定され、災害医療時の中心的役割をになうDMAT及びAMATを組織している。ほぼ全領域の外科的疾患を扱っており、内視鏡検査や治療も外科が中心に行っている。 中規模病院ならではの、手術手技だけでなく、診察・検査・診断・治療のスピード感ある「流れ」も身につけられる。</p>
--	--

10. 専門研修の評価について

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は、施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアル VI を参照してください。

11. 専門研修プログラム管理委員会について

基幹施設である東海大学医学部附属八王子病院には、専門研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。多摩地域外科専門研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者(委員長)、副委員長、事務局代表者、外科の5つの専門分野(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科)の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。

専攻医の研修全般の管理を行い、専門研修プログラムの作成、管理、改善などを行います。専攻医プログラム終了時に専攻医の修了判定を行い、専門研修プログラム統括責任者が修了判定を行います。

研修プログラムの改善へ向けての会議には、専門医取得直後の若手医師代表が加わります。

12. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の専門研修責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘルスに配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は、労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

13. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録に基づいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかについて専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

専攻医研修マニュアル VIII を参照してください。

15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

東海大学医学部附属八王子病院内専門研修プログラム管理委員会にて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

- (1) 専攻医研修マニュアル 別紙「専攻医研修マニュアル」参照
- (2) 指導者マニュアル 別紙「指導医マニュアル」参照
- (3) 専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。

- (4) 指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

16. 専攻医の採用と修了

採用方法

多摩地域外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年7月頃から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、毎年締切日までに専門研修プログラム責任者宛に所定の形式の『多摩地域連携外科専門研修プログラム応募申請書』および履歴書等所定の書類を提出してください。申請書は、(1) 東海大学医学部附属八王子病院の website (http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/recruit/clinician_tr/index.php) よりダウンロードするか、(2) 電話で問い合わせ (042-639-1111 (内2104))、(3) e-mail で問い合わせ : resi8@hachioji-hosp.tokai.ac.jp、のいずれの方法でも入手可能です。

原則として 一般社団法人日本専門医機構の発表による一次募集ならびに二次募集の期間に従って行う。2019 年度募集は、2018 年 9 月頃より開始となる。11 月中に書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に文書で通知します。応募者および選考結果については 12 月の多摩地域連携外科専門研修プログラム管理委員会において報告します。なお、今後日程通達があり次第随時、お知らせしていきますので、卒後臨床研修募集の website(前述)の臨床助手(後期研修医)募集要項から必ず日程を確認下さい。

研修開始届け

研修を開始した専攻医は、各年度の5月 31 日までに以下の専攻医氏名報告書を日本外科学会事務局 (senmoni@jssoc.or.jp) および、外科研修委員会に提出します。

- (1) 専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- (2) 専攻医の履歴書(様式 15-3 号)
- (3) 専攻医の初期研修修了証

修了要件

専攻医研修マニュアル参照

17. 専攻医体験談



氏名： 庫本 達

卒業年： 2012年3月

出身大学： 大阪医科大学

サブスペシャリティ： 消化器外科

東海大学付属八王子病院には平成27年4月から平成30年3月までにお世話になりました。私自身は卒後4年目から6年目までという期間を過ごさせて頂きました。

八王子病院の外科は、付属病院ということもあり、予定手術では癌の症例をほぼ毎日行っており、加えて虫垂炎、ヘルニアなどの良性疾患の手術を経験する機会も多く様々な症例を経験することができる環境です。また、緊急手術に関しても積極的に救急車や近隣の病院からの受け入れを行っているため、消化管穿孔、絞扼性イレウスなど緊急手術も経験することができました。

胃癌、大腸癌の手術をはじめ、膵癌、食道癌の手術数も経験することができ、開腹手術だけでなく腹腔鏡での手術も積極的に行っており、各手術を通して手術手技を学ぶことができました。虫垂炎、ヘルニアの手術は腹腔鏡で、実際に執刀さしてもらった機会も多くありました。カンファレンスにおいても大学病院らしく各疾患のスペシャリストがいるため、それぞれも疾患で専門性のある議論も行われており広くいろいろなことを学ぶことができたと思います。学会発表に関しては、各学会で毎年発表する機会もあり、外科、消化器外科専門医取得のための環境もそろっているため、後期研修を行うには十分な環境だと思っています。

3年目の後半はチーフレジデント制度に則って、緊急手術を中心に執刀する機会をたくさん与えてもらいながら外科医として忙しく過ごすことができる環境でした。まだまだ知識も経験も少ない駆け出しである後期研修期間を過ごすには素晴らしい環境だったと思います。

当初、東海大学付属八王子病院に来た時は外科医としてまだ、何もできない時期に大阪から来た僕に3年間多くのことを学ばせて頂き成長することができたことにとっても感謝しています。



氏名：阿部 凜

卒業年：2015年3月

出身大学：東海大学

サブスペシャリティ：消化器外科

東海大学八王子病院、初めての外科後期研修医として過ごしようやく1年が過ぎました。前例がなく先生方と共に手探りでやってきましたが、いま振り返り、1年前の選択は決して間違いじゃなかったと感じています。

当院は高尾山で有名な八王子市にあります。自然が多く、美味しいご飯が食べられるお店もたくさんあり、仕事の疲れを癒やしてくれる場所が豊富な良い街です。そんな当院の良い所はアットホームでコメディカルの方が優しく、総合医局で垣根が低く他科の先生方にもコンサルトし易い所です。昨年も病棟急変時に何度助けて頂いたことか。全科揃っているのも必ず専門医がいるのも心強いです。



昨年は9ヶ月を消化器外科(3ヶ月ごとに上部消化管班と肝胆膵・下部消化管班をローテーション)、2ヶ月を外科専門医に必要な他科研修(1ヶ月を呼吸器外科、1ヶ月を乳腺外科)、1ヶ月を内視鏡研修という形で過ごしました。年間で経験できた手術症例は244例、定時・緊急含め56例を術者として執刀させて頂きました。野戦病院と呼ばれるような市中病院と比較すると経験症例数は少ないかもしれませんが、しっかり教育を受けながら経験できたので質・量共に満足しています。大学病院でありながら痔核や虫垂炎などの小手術も多く、もちろん高難度手術と呼ばれる膵頭十二指腸切除術や食道癌根治術も豊富にあり、手術がうまく、命に熱い10年目以上の先生方から学び、技を盗むことができるのも良い所だと思います。学会活動や論文執筆が出来るのも大学病院ならではのメリットだと思います。

良い所ばかり述べてきましたが、当院の後期研修制度がまだまだ発展途上であることは正直に認めます。そして外科は楽ではありません。決してタフじゃない私は何度も涙しましたが、それでもここには助け応援してくれる人と環境がありました。自分が手術した患者様が元気に退院していく姿を見たとき、全てが報われた気持ちになります。これはやった人間にしか味わえない感情だと思います。

いま迷っているあなた、私も1年前は外科医になることを迷っていました。でも今は、後悔していません。この道と共に行く仲間を、心からお待ちしています。



氏名： 蓑島 考

卒業年： 2016 年 3 月
出身大学： 北海道大学
サブスペシャリティ： 小児外科
研修施設： 国立病院機構災害医療センター

今年度より災害医療センター外科専門研修プログラムにて、外科医後期研修をしている蓑島考です。外科後期研修医としてまだ 1 ヶ月ほどしか経っておりませんが、これまでの経験を簡単にご紹介します。

当院での外科研修は外科部長の若林の方針のもと、基本手技・病棟管理を身につけるべく、毎日手術に入っています。現在は週1-2件のペースで兎径ヘルニア、急性虫垂炎、胆嚢摘出、胃空腸吻合の執刀をさせていただいています。消化器癌の手術が中心で上級医全員と手術が多く、その都度様々なアドバイスを頂いております。病棟は2.3人のチームで患者を受け持っており、先輩方の治療方針を間近で勉強することができます。直属の先輩たちは当院の初期研修医からレジデント、スタッフになった医師です。

平日、休日にかかわらず上級医のバックアップがあり、細かいことでも相談しやすい環境であることも非常に有難いです。

市中病院での外科研修プログラムとなりますが、院内の循環器外科や呼吸器外科、関連病院での研修の体制もあるため、外科専門医取得に症例が不足するということはありません。

先輩方から時には優しく、時には厳しくご指導いただきながら、充実した研修を送れていると感じています。今後とも精進して参ります。



氏名： 村田 智洋

卒業年：
出身大学： 日本医科大学
サブスペシャリティ： 心臓血管外科
研修施設： 南町田病院

私は 2017 年 10 月から 1 年間の予定で南町田病院 外科にて一般外科研修を行っております。200 床ほどの病院で、外科常勤医は私を含めて 6 名、他に非常勤の先生方がおられます。医局の雰囲気は穏やかで、和気あいあいと仕事をしております。

消化器外科疾患はもちろん、救急に積極的で分野の垣根を越えた経験を積めます。初期研修以降は専門領域の経験のみで、一般外科の知識が欠けていると思っていました。しかしそれを補うように多くの経験をしております。肩関節脱臼などの整復を行い、様々な骨折や、脳出血やくも膜下出血などの初期対応も学べました。他にも下肢の切断術なども経験させて頂いております。

外科領域以外でも多くの経験をさせて頂いております。以前の施設では麻酔科を兼任していましたが、デバイスを用いた挿管のみで喉頭鏡の扱いに不安がありました。麻酔科の先生に相談し喉頭鏡を用いた挿管による麻酔導入を修練させて頂けるようになりました。

科の雰囲気も良く、専門医に必要な手術件数は十分に満たしております。それだけではない一般外科医としての基礎知識、救急対応の修練が出来ました。まだ道半ばではありますが、さらなる研鑽を積み重ねたいと思っております。

問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院外科専門研修プログラム管理委員会

電話:042-639-1111 (内 2104) 大島

メール: resi8@hachioji-hosp.tokai.ac.jp

yamada.shunsuke@hachioji-hosp.tokai.ac.jp

ホームページ:

http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/saiyoujyuhou/recruit/clinician_tr/kouki_bosyu/

見学、個別相談など随時受け付けています。

2016年1月30日作成 第1版

2017年5月31日作成 第2版

2017年10月10日作成 第3版

2018年5月11日作成 第4版

多摩地域外科専門研修プログラム管理委員会編